

# 会報

No.15

1988. 3. 25 発行

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9  
京都府立図書館内  
TEL(075)771-0069

## 『図書館の仕事大好き族様』

京都文教短期大学教授・図書館長

後藤 晨次

図書館の仕事をしている人は、た

またま人事異動でそこへ配属された  
というお方と、本が好きでそうなつ  
ちゃつたという人種の二つがある。前者のお方については、まず理屈ヌ  
キに図書館を好きになってほしい。  
館に来られる人を好きになってほし  
い。管理職ならその上で予算だけは  
沢山取ってきてほしい。後者は図書館の仕事大好き族と、  
自分の研究・趣味のために図書館を  
個人的に利用したいので、あまり業  
務に手を取られたくないノダ族にわ  
かれるみたいだ。はじめのタマタマ人と後の二族が  
からみあいながら毎日が過ぎていく  
のだが、貧乏クジを引くのは図書館  
大好き族と大体決っている。いい本見つけたら、みんなに知ら  
せたい。聞かれたことは何としても  
調べてあげたい。書架が乱れると  
気になる。本が来てるのに受け入れが  
遅れて積んだままだと悪いことをし  
ているみたいな気がする。傷んだ本  
を見るのがつらい。カバーや箱、腰  
巻きなど、本についているものは全  
て捨てるのが惜しい。当然、廃本は

そのこと 자체が嫌い。

事務の方で言うと、図書館という  
ところはいつも何か遅れてるか、た  
まってる仕事があるから気が休まら  
ない。情報図書館時代などと言わ  
れると、早くそのノウ・ハウを手に  
入れようと焦る。その上、最低一日一つは、ちょっと  
と新しくやってみたいパフォーマン  
スを思いつくとなると忙しいに決つ  
ている。気がついて見たら、何だか近頃本  
が読めてないな、なんてことになっ  
て、私の人生は何なんだろうとタメ  
息をつく。なのに、図書館にお勤め  
ですか。本が読めておよろしいです  
ね、と言われる。中では、あれは好  
きでやつとんにやからで終りがち。

それでも女一人大地に行く。女と

言つたのは、大好き族には何故か女  
が多いから。男だと母性が高い人

に限られる。大体、父性の高いお

爺さん又は女史に図書館の仕事をさ

せると、何かにつけ指導したり管理

したがるから困るんだと、余分なこ

とを言つといて、さて、皆さんお元

前に京都市中央図書館長の兼職を  
命じられて舌なめずりをしたのもツ  
カの間、一年でしまったのが、  
昨年からまた図書館の仕事が出来る  
ようになって息づきかえします。

新しく仕事することになった図書  
館の蔵書を初めて見るのは、なかな  
かスリルがあるので、仲間の目と  
冷酷な批判者の目で書架を見ていく  
ことになる。それで、有って嬉しかつ  
たり、無かつてシメタと思つたり、  
中に、これは志のある人が居たなど  
わかるコレクションがあつて感激し

たり、これは経験者が多いはずです。  
そこでとすることだけれど、図書  
館大好き族の情報通信網が作れない

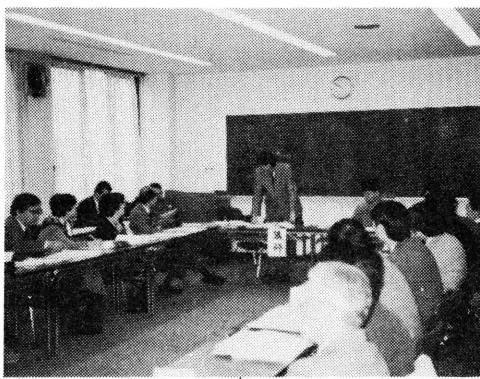
かなというのが当面の夢です。電子  
メールで好きなこと言つたり、グチ  
こぼしたり、既販図書館ソフトの悪  
口を言つたり。昼間に時間を作つて、  
或いは深夜ひそかにおしゃべりが飛  
びかかるなんていいじゃないですか。  
か。その楽しみと値打ちをどこの館

長さんも、そしてもっと上の人もわ  
かってもらえたなら幸せです。

それでも女一人大地に行く。女と  
言つたのは、大好き族には何故か女  
が多いから。男だと母性が高い人  
に限られる。大体、父性の高いお  
爺さん又は女史に図書館の仕事をさ  
せると、何かにつけ指導したり管理

### 筆者紹介

京都市教育委員会事務局・生徒  
福祉課長、社会教育課長、市社会教育総合センター事務局長、市中  
央図書館長兼職等を歴任、昭和六十二年四月から現職へ、京都大学  
法学部卒業



泊研修

今年度の一泊研修が二月四日、五  
日に、京都府青年会館で二十五館四  
十五名が参加して行われました。

浦安市立中央図書館の竹内紀吉館長から「よりよい図書館を求めて

の役割」草津市立図書館の武内隆恭館長から「市立図書館からみた滋賀県立図書館」と題した講演が行われ、府立図書館・長岡京市立図書館・田辺町立図書館からは事例発表がありました。

活発な図書館活動、全国的な注目を浴びている両図書館からノウハウを吸収しようと、参加者は各館の活動状況を報告しあい、夜遅くまで熱心な討議を交しました。

第二日目の、草津市立図書館長の武内先生の講演では、滋賀県に於ける県立図書館を中心とした、相互協力体制の現状について説明していた。

だき、自分の館のように規模の小さい図書館では、どうしても府立図書館等の援助・協力が必要であり、その点に於いて滋賀県の現状を、とて  
もうらやましく思いました。

共に、それらの事業（仕事）の取り組み一つ一つが職員の発意である、ということでした。研修体制の確立もさることながら、絶えず問題意識を持ちながら具体的に実践されてい

私のように、経験に乏しい図書館員にとり、学ぶことの多かったこの研修会ですが、やはりこの研修会の

る浦安市立図書館の一質」の高さを知りました。講演でもう一つ印象に残ったことは、浦安のPR活動でし

一番の収穫は、日頃顔を合わわせることの少ない、他の図書館の方々との交流の場を得ることが出来たことだと思います。研修会で学んだことと共に、ここで出来た図書館間のつながりも、今後の仕事に生かせるように、よりよい図書館をめざして励んで行きたいと思います。

経営」という言葉を使われましたが、それはとりもなおさず、市民の図書館に対する信頼の厚さだと思います。自治体の中での「図書館の存在の大さ」は、こんなところにあらわれているのではないしょうか。それらを踏まえて大型書庫の建設などこれから浦安についても話していました。

二日目は、草津市立図書館・武内館長より「市町村立図書館こそ公共図書館であり、市町村立をバックアップする」が県立の機能である。「などの内容の講演がありました。

生涯学習時代を迎え、公共図書館に働く職員として、貸出機能の充実にとどまらず、常に「質」を意識することの重要性を学んだ二日間でした。

(宇治市中央図書館 笹田保治)

に、よりよい図書館をめざして励ん  
で行きたいと思います。

「きき」は、こんなところにあらわれているのではないでしようか。それらを替えて大型書車の建設など、

■「量的拡大は質の問題をともなわなければならない。」浦安市立図書

から浦安についても話していました。

館・竹内館長がこの研修会の講演の中で強調されていたことは、これからの方針性であった、と思っています。自分自身の毎日を振り返ってみても、日常の仕事に追われ、「一つの業務が図書館全体の中でどういう役割を担っているのか」また「図書館職員としてどんなサービスをし、どんな図書館をめざしているのか」など「質」の問題は全くとい

二日目は、草津市立図書館・武内館長より「市町村立図書館こそ公共図書館であり、市町村立をバックアップするものが県立の機能である。」などの内容の講演がありました。生涯学習時代を迎え、公共図書館に働く職員として、貸出機能の充実にとどまらず、常に「質」を意識することの重要性を学んだ二日間でした。

(宇治市中央図書館  
笛田保治)

(3)

〈特集〉

1987

## 読書週間行事 まとめ

図書館名	行事名	行事内容
京都市中央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書週間記念行事 特別講演会</li> <li>・読書週間 ポスターコンクール入選作展示</li> <li>・秋のおたのしみ会</li> <li>・大型紙芝居と読み聞かせの会</li> <li>・紙芝居と読み聞かせの会</li> </ul>	<p>「平安京と平泉」 講師 平安博物館長 角田文衛氏</p> <p>京都市中学生の読書週間ポスター入選作品展示</p> <p>パネルシアター、手品、大型紙芝居 大型紙芝居「ねずみのよめいり」 絵本の読み聞かせ「とらときつね」 紙芝居「のねずみとまちねずみ」 絵本の読み聞かせ「ぼくそらをさわってみたいんだ」</p>
京都市伏見中央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映写会「子どもに読書のよろこびを」</li> <li>・読書週間特別講演会</li> <li>・読書週間記念作文コンクール</li> <li>・大型紙芝居と読み聞かせ</li> </ul>	<p>映画会</p> <p>「読書好きな子どもをどう育てるか」 講師 京都市教育委員会 指導主事 鳩路和夫氏</p> <p>小学校児童を対象に感想文を募集 大型紙芝居「おむすびころりん」 読み聞かせ「にんげんってたいへんだね」</p>
京都市下京	・紙芝居と読み聞かせの会	<p>紙芝居「にんじんさん、だいこんさん、ごぼうさん」 「おうさまのながぐつ」 絵本 「りんご」</p>
京都市山科	・秋の映画会	<p>「パンダの交通教室」 「ゆうれい屋敷」 「山の太郎熊」</p>
京都市洛西	・読み聞かせと紙芝居の会	<p>読み聞かせ「おてがみください」 紙芝居「まほうのふで」</p>
京都市醍醐	・開館5周年記念行事	<p>親子お楽しみ会 ・人形劇 ・まんが映画</p>
向日市立	・古典文学講座「漢詩を読む」	<p>漢詩がテーマの講座 第5回は関帝廟、白鶴美術館をバスで訪問</p>
宇治市中央	・読書週間記念講演会	<p>「おかあさんマンガを読んでいますか」 —— マンガを中心として子供の本を考える —— 講師 帝国女子大助教授 竹内オサム氏</p>
城陽市立	・読書週間記念講演会	<p>「くらしの中の絵本」 講師 桃山学院大 児童図書館長 根岸伴子氏</p>

図書館名	行事名	行事内容
大山崎町中央公民館	・お楽しみ劇場	・ストーリーテリング 「おなかいっぱいたべたネコ」 ・パネルシアター 「ふしぎなポケット」他 ・ペーパーサート 「かぐやひめ」 ・影絵「すてきな三人組」
久御山町立	・お話し会 ・読書相談コーナー ・学校推せん図書の展示 ・移動図書館車コーナー	・ストーリーテリング ・絵本の読み聞かせ ・紙芝居 ・ゲーム 読書に関する各種の相談の受付け 町内各小・中学校より推せんされた図書の展示 移動図書館車「さざんか号」の展示
八幡市立八幡市民	・「なんてったっておもしろい本ベストテン」 ——児童書——	全利用者（大人を含む）を対象に3冊までの投票から集計、1位～10位までのタイトル発表。7位までを図書館だよりで内容案内する。
木津町立	・受賞児童図書展 ・紙芝居と絵本の時間	受賞児童書のすばらしさについて啓蒙する。 紙芝居「シュークリームのおきゃくさま」「おおきくおおきくおおきくなあれ」「ころころぐま」 絵本「ちいさなクレヨン」「きつねとかわうそ」「さっちゃんのかさ」・手あそび（折紙）
加茂町立	・読書週間おはなし会	大型紙芝居「やさしいライオン」 読み聞かせ「ちいさいおうち」他
精華町立	・文学散歩 ・古典芸能鑑賞	嵯峨野散策 文楽「恋女房染分手綱」「心中宵庚神」
綾部市	・第20回優良読書グループ表彰伝達式	表彰状 他の伝達
福知山市立	・製本技術講習会	和本・洋本・修理の製本講習
宮津市立	・読んだ本を絵にする作品募集	保育所・幼稚園・小学生が本を読み感じたこと、思った事を絵にしてもらう
峰山町立	・第28回児童・生徒読書感想文の募集	町内小学生 1,141点・中学生 151点の応募があった
亀岡市立	・図書展示（一般書） ・図書展示（児童書）	テーマ「私の三冊」 170冊展示 テーマ「日本の児童図書賞 1982～86年」 280冊展示
京都ライトハウス 点字	・第7回読書会	文学散歩「平家物語を訪ねて」



# 専門委員会ニュース

## 相互協力委員会

本年度は7月17日（於府立図書館）、12月1日（於京都市伏見中央図書館）、2月16日（於長岡京市立図書館）の3回の開催に終った。事業としては、「昭和61年度相互貸借実態調査報告書」を刊行（昭62.12）するとともに、逐次刊行物所蔵目録作成2ヶ年計画の第1年次として、その構想を練り、調査票類を作成、これの発送により調査を開始しています。

前者の報告書は、加盟館をはじめ近畿の府県立および指定都市立の公共図書館、日本図書館協会等に配付したところ、ユニークな調査として日本図書館協会事務局より反響があり、「図書館雑誌」への寄稿依頼も予想されます。“Libraries don't stand alone”ということで理論化され尽くしている相互協力ですが、その基礎である資料の相互貸借も、日本においてはまだ未熟の域である現状の中で、少しでもその振興に役立ちうるものとなればとこの事業は、今後隔年で継続していく予定です。

後者について、内容的には「京都府公共図書館等所蔵雑誌新聞類目録（仮称）」として昭和63年度末、完成をめざしています。モデルとして「兵庫県公共図書館雑誌紀要等総合目録」を参考にしており、300部を印刷し全国配付を考えています。なお、本事業はその性格等に鑑みて、京都府立図書館に共同編集刊行を申し込みています。

5月末の調査票回収期限を厳守していただく等、加盟各館の積極的なご協力を願っています。

## 研修研究委員会

62年12月以降の研修研究委員会は、62年度最後のピッゲイベント（一泊研修）の成功にむけて活動を行ってきました。これまでの活動の概要及び今後の予定は以下のとおりです。

### 1. 研修会

#### (1) 第2回研修研究委員会

テーマ：一泊研修について

日 時：62年12月18日(金)

場 所：京都市伏見公会堂

参加者：14人

#### (2) 第40回実務研修会（一泊研修）

42人の参加をえ、充実した研修会となりました。

詳細は2頁を参照。

### 2. 研究会

#### (1) 児童奉仕研究部会

太子町立図書館の古寺館長を講師に研究会

(3/8)

#### (2) 障害者奉仕研究部会

実態調査のまとめをすすめている。(12/3)

#### (3) 参考事務研究部会

事例研究を中心とした研究活動を行っている。

(12/10. 2/12)

### 3. 京庫連との共催事業

講演会と交流会を一本化して12月4日(金)に実施。

テーマ：子どもの言語・感性をそだてる

—子どもの考える力・感じる力—

講 師：藤本浩之輔氏（京大助教授）

場 所：京都府立図書館

参加者：28人

## 整理

福島県福島市  
六三・十・六～十・七

## 奉仕

収集と保存のためのシステム  
和歌山県和歌山市  
六三・十・二〇～十・二一

図書館奉仕の面接する諸問題  
石川県金沢市  
六三・九・二九～九・三〇

## 児童

すべての子どもに読書のよろこびを  
千葉県浦安市  
六三・十一・八～十一・九

## 広報委員会だより

◆八幡市民図書館の昭和六十一年度の貸出冊数が市民一人あたり六・八冊となり、全国でもトップクラスというホットなニュースがとびこんできました。◆さて広報委員会が発足して二年、ふりかえてみて、情報収集など皆様のご期待に十分お応えできず、我々の力不足を痛感しているこの頃です。◆四月からは新しいメンバーで委員会が構成されます。

新委員により、これまでとはまた視点を変えた編集で、紙面が益々充実していくことを願っています。◆担任しておりました間、忙しいなか、いよいよ寄せて下さった方々に心からお礼申し上げます。◆加盟館の皆様、ご協力ありがとうございました。

## 全国研究集会日程